

参加者の主な気づきと学びのポイント

「お金のブロックパズル」による経営数字の可視化

複雑な決算書の数字を、ブロックパズルを使って図解することで直感的に理解。

「数字の全体像が見えるようになった」と、多くの参加者が数字への苦手意識を払拭しました。

「売上」重視から「粗利（粗利率）」重視へのマインド転換

売上を追うだけでなく、「粗利がいかに関利益に直結するか」という仕組みを再認識。

「粗利 1%の改善が利益を大幅に増やす」という事実には驚きの声が集まりました。

目標から逆算して行動を決める「逆算思考」の定着

「出したい利益」から逆算して、必要な売上や具体的な行動計画を立てる手法を習得。

「どんぶり経営」からの脱却を誓う参加者が目立ちました。

経費を「削減対象」ではなく「将来への投資」と捉える

広告宣伝費や人材教育費を、将来の利益を生むための「戦略的経費（先行投資）」として積極的に活用する考え方に、多くの経営者が共感しました。

計画・実行・チェックを繰り返す仕組みの重要性

単に目標を立てるだけでなく、「毎月の数字を確認し、改善していくサイクル」を社内
に作る必要性が、具体的な気づきとして多く挙げられました。